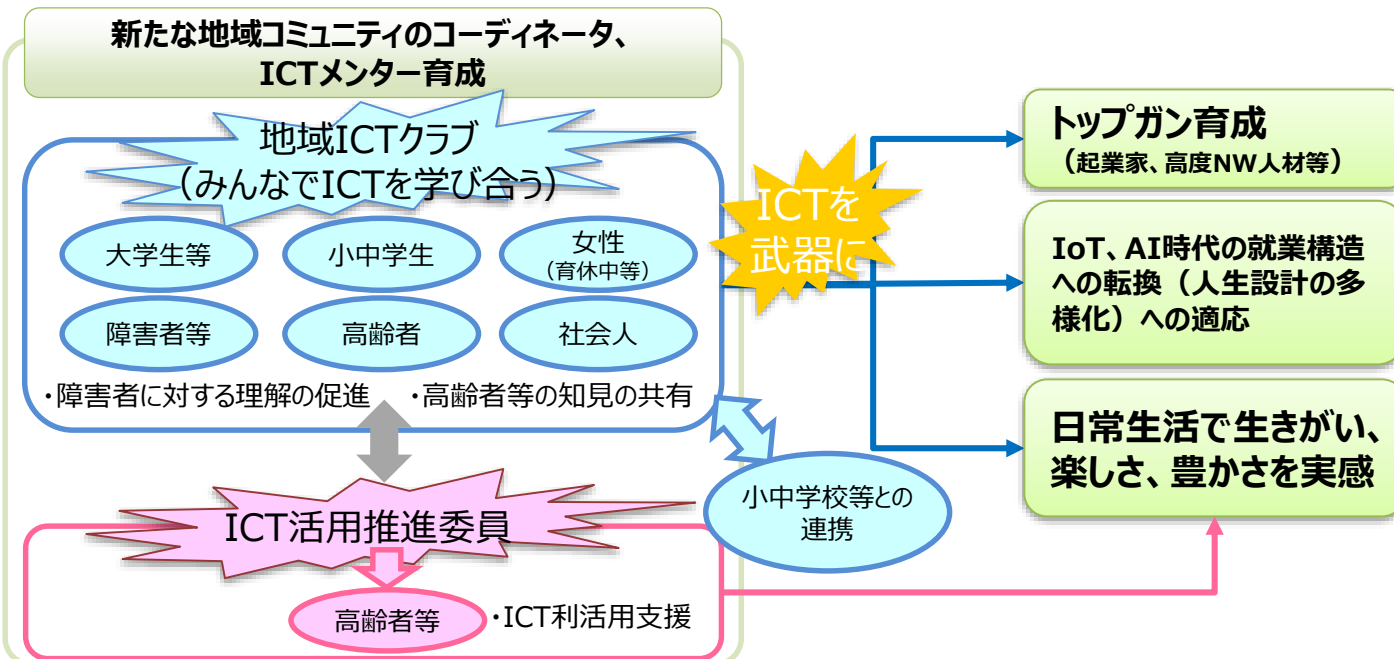


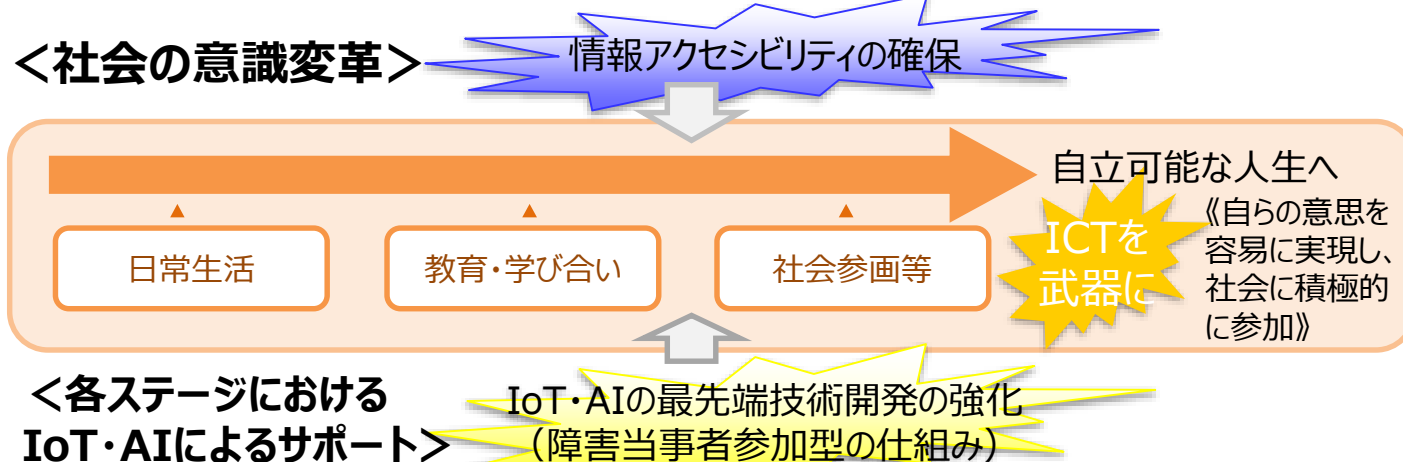
スマートインクルージョン構想の主な柱<本格的なIoT・AI時代に備えて>

【資料5】
平成30年6月22日
総務省

I みんなでICTを学び合う環境整備（新たな地域コミュニティの形）



II 障害者等が自立可能な人生への道標



2040年

インクルーシブな社会の実現

～年齢・性別・障害の有無・国籍・所得等に関わりなく、誰もが多様な価値観やライフスタイルを持ちつつ、豊かな人生を享受できる「インクルーシブ（包摂）」な社会の実現～

高齢者、障害者、ダイバーシティを意識せず

みんなが支えあう、

新しい地域コミュニティの創造

- 本格的なIoT、AI時代の到来に備え、21世紀型スキル（※）を習得し、単純・定型化された業務等のAI、ロボットによる代替による就業構造の転換に対応する観点から、未就学児や小中学生等が幼少期からプログラミング等の技能を習得するための地域ICTクラブを整備するとともに、若年層の成功体験・ビジネス体験の機会を確保し、起業家の育成や高度ネットワーク・セキュリティ人材、IoT・AIユーザー企業等の人材の育成につなげるプロセスを確立。

※21世紀型スキル：創造性、論理的思考、コミュニケーション能力、ICTリテラシー等の、21世紀に活躍できる人材が持つべき能力

● 日本の未来を作る小中学生向けICT関連コンテストの開催

● 小中学生によるシェアエコを活用したビジネスモデルの構築

コンテストとビジネス体験は並行して経験

若年層の成功体験・
ビジネス体験の機会の確保

プログラミング等
の技能の習得

● 地域ICTクラブの整備

起業家等の育成

高度ネットワーク・セキュリティ人材、
IoT・AIユーザー企業等の人材の育成

● 各種関連施策への橋渡し

【創業に必要となるビジネスプラン作成、企業経営知識の習得支援】

○創業スクールの開催（中企庁 地域創業活性化支援事業）

【独創的なアイデア等、ビジネスプランの実現に向けた人的・資金支援】

○I-challenge!（総務省）

○未踏IT人材発掘・育成事業（経産省）

【ベンチャーの資金調達等】

○創業者向け低利融資（日本政策金融公庫）

○エンジェル税制（中企庁等）

等

※ 地域ICTクラブは、高齢者、障害者、社会人等も参加。高齢者、障害者等のICT利活用支援や社会人のリカレント教育の一環としても活用。ICT活用推進委員とも連携。

「地域ICTクラブ」の整備

- 「地域ICTクラブ」は、地域で子供・学生、社会人、障害者、高齢者等がモノづくり、デザイン、ロボット操作、ゲーム、音楽等を楽しく学び合う中で、プログラミング等のICTに関し世代を超えて知識・経験を共有する仕組みとして整備。
- 地域におけるヒト、モノ、カネの各資源を活かし、地域の特性等に応じた様々なタイプのモデル実証を行い、全国への横展開を推進。
- また、高齢者と社会人、子供等の学び合いによる各々の知見の共有、障害者に対する理解の促進、社会人等に対するリカレント教育なども期待。

